

<高齢者施設や医療施設における感染拡大事例>

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
マスクなしでの昼食介助	高齢者施設 17人	介護場面での、職員・利用者の密接な接触。職員は昼食時はマスクなしだった(会話はしないようにしていた)。
食事時の感染防止策の不徹底	特別養護老人ホーム 58名(入居者、職員)	居住階の異なる入所者が食堂に集合し、向かい合わせ、パーティションなしの状態ですべて食事をとっていた。また、職員が階をまたぎ全館入所者に対応していた。

対策例

- ・職員、利用者ともに常時マスクを着用
- ・共用部分の利用前後の消毒の徹底

- ・定期的な換気
- ・ゾーニングの指導・徹底による拡大防止

※類似の事例は全国で発生

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
マスクなしでの入浴介助	病院、介護施設等(複数施設、人数未確定)	入浴介助に際し、暑さ、息苦しさから介助者がマスクをはずして感染を拡大させた。
複数人による同時入浴	高齢者施設 15人	入居者はマスクなし。浴室は共同で、複数人が同時に利用。ブレイクスルー感染も確認された。

対策例

- ・職員の常時マスク着用
- ・お互いに顔を近づけず、会話をしない
- ・機械浴の利用を提案
- ・入浴時間帯を分けるなどの分散入浴の実施
- ・入浴中も換気を徹底

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
送迎バス内の換気不足	通所型リハビリセンターの送迎バス 9人	送迎中に換気のため窓をあけていたものの、車内循環の暖房を常時入れていたことから、換気が不十分であったと思われる。

対策例

- ・送迎バスの十分な換気対策の徹底

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
マスクなしでの体操実施	高齢者施設 31人	入所者が毎朝マスクなし・集団で健康体操をしていたほか、施設の感染対策が不十分(消毒液の設置、PPE着脱等)で感染が拡大したと思われる。

対策例

- ・入所者へのマスク着用の勧奨
- ・職員のマスクとアイガードの着用の徹底 等